

S  
O  
U  
L  
O  
F  
C  
H  
O  
G  
O  
K  
I  
N  
VS  
D  
E  
V  
I  
L  
M  
A  
N  
O  
P  
T  
I  
O  
N  
S  
E  
T  
MAZINGER Z D.C.  
DYNAMIC CLASSICS



超合金魂 GX-70VS マジンガー Z D.C. 対デビルマンオプションセット 解説書

マジンガー Z 対  
デビルマン

©ダイナミック企画・東映アニメーション

●本書の画像・イラストと実際の商品とは多少異なりますので、予めご了承ください。※画像はイメージです。



# マジンガーZ 対 デビルマンの世界

## WORLD OF MAZINGER Z VS DEVILMAN

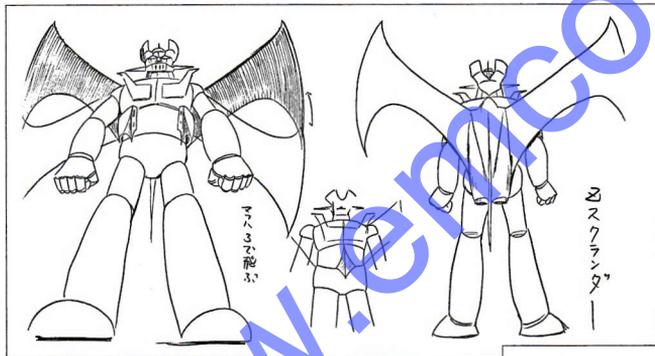
### 解説

劇場映画『マジンガーZ対デビルマン』は1973年7月18日より、「東映まんがまつり」のプログラム的一本として公開された。永井豪氏の作品としては初の長編アニメーション映画であり、『マジンガーZ』と『デビルマン』の世界を、一つにまとめたことが大きな特色となっている。2大ヒーローの共演に加えて、マジンガーZの新兵器ジェットスクランダーの初登場も描かれており、多くのトピックスを盛り込んだ、まさに“お祭り映画”であった。

本オプシオンセットにはホバーバイルダ、ジェットスクランダー（形状はテレビ第34話から登場した前期型で、尾翼は『マジンガーZ対デビルマン』版）、上腕断面パーツが入っており、それらを超合金魂GX-70マジンガーZ D.C.に取り付けることで『マジンガーZ対デビルマン』仕様が再現できる。また、ジェットスクランダー発射直前の主翼を折りたたんだ状態を再現するためのパーツも付属、発射台も映画をイメージして青くりペイントされた。さらに兜甲児と不動明のメタルフィギュアも同梱されており、劇場映画の興奮を味わうことができる。



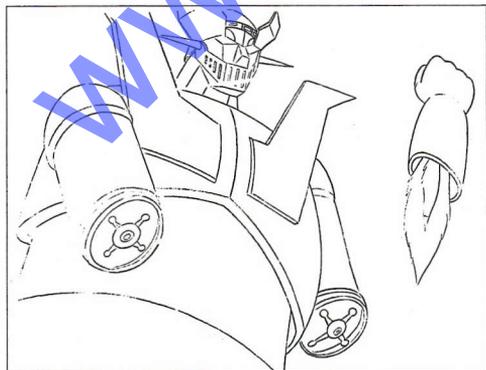
▲『マジンガーZ対デビルマン』の宣伝用に作成されたロビーカードの1枚。左上のカットに描かれたジェットスクランダーの尾翼に「Z」マークが入っている。



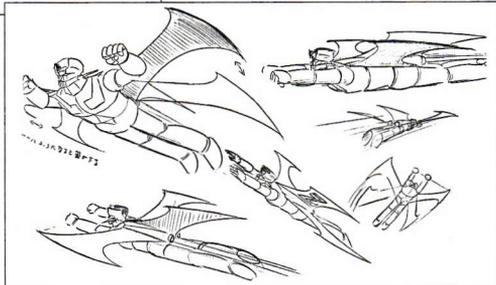
◀『マジンガーZ対デビルマン』『マジンガーZ対暗黒大將軍』の作画監督、角田純一氏によるジェットスクランダーの設定。この設定が描かれた時点では「Zスクランダー」と呼ばれていた。

▼飛行時のスタイル。マッハ2・3になると翼が下りるとの書き込みがある。また、尾翼に「Z」マークが確認できるが、テレビでは矢印のストライプに変更されている。

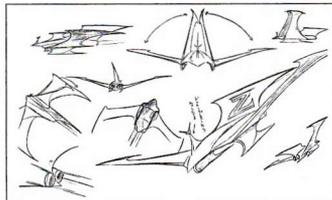
### デザインワークス



▲ロケットパンチを発射した際に露出する、上腕断面の設定。ドリルミサイルが装備される前はこの形状で描かれていた。



▶尾翼に「Z」マークの付いたスクランダーは映像では『マジンガーZ対デビルマン』のみの登場だが、超合金やジャンボマジンダーの尾翼には「Z」マークが付いていた。





VS DEVILMAN  
MAXI-MAN  
OPTION SET  
DC  
SERIES



Illustrated by Kazuhiro Ochi